

第4回中岡崎駅バリアフリー基本構想策定協議会 議事録

1 日 時 : 令和7年2月19日(水) 14時00分~14時45分

2 場 所 : 岡崎市役所東庁舎7階 東701号室

3 出席者及び欠席者

NO	氏 名	所 属	備 考
①	松 本 幸 正	名城大学 教授	
②	松 尾 幸 二 郎	豊橋技術科学大学 准教授	
③	夫 馬 康 昌	名古屋鉄道(株)	
④	寺 澤 秀 樹	愛知環状鉄道(株)	
⑤	後 藤 泰 之	名鉄バス(株)	
⑥	浅 岡 林 平	愛知県タクシー協会岡崎支部	
⑦	長 坂 秀 志	岡崎市総代会連絡協議会	
⑧	鷲 山 幸 男	岡崎市老人クラブ連合会	
⑨	加 藤 歩	岡崎市障がい者福祉団体連合会	
⑩	杉 山 兼 一	中部運輸局バリアフリー推進課	
⑪	竹之内 陽平	愛知県交通対策課	
⑫	能登谷 敦	愛知県西三河建設事務所 維持管理課	
⑬	岡 田 晃 典	岡崎市総合政策部 部長	
⑭	高 橋 広	岡崎市福祉部 次長	
⑮	神 谷 秀 樹	岡崎市土木建設部 部長	
⑯	松 澤 耕	岡崎市都市政策部 部長	
⑰	小 田 英 宜	岡崎市教育監	

欠席者：愛知県岡崎警察署

4 説明会等のため出席した事務局職員の職氏名

氏名	所属	備考
木下 政樹	総合政策部 地域創生課 課長	事務局
竹内 雅晴	総合政策部 地域創生課 主任主査	事務局
熊谷 大輝	総合政策部 地域創生課 主事	事務局
安藤 星哉	総合政策部 地域創生課 主事	事務局
澤田 和樹	総合政策部 地域創生課 主事	事務局
安藤 寛人	総合政策部 地域創生課 事務員	事務局

他、業務委託先（株式会社間瀬コンサルタント）より3名出席

5 報告事項及び協議事項

協議事項

(1) パブリックコメントでの意見と市の考え方について

資料2に基づき説明

<以下、各委員の意見等>

委員	今後の具体的な設計や方針について、内容を把握するような場はありますか？
事務局	今後は公共交通会議にて進捗の報告をするため、公共交通会議の場で状況を把握できます。
委員	基準を満たした設計というのは最低限必要ですが、さらなる工夫でよりよいものを整備できたら良いと思います。 今後の設計において、障がい者団体の方の意見交換を実施する体制はありますか？
事務局	公共交通会議では、障がい者団体も会員となっていますので、その場で情報共有や意見交換が可能であると考えています。
委員	資料2の「中岡崎駅について」の2番目及び3番目のご意見に対する回答ですが、適切な答えになっていない気がします。
事務局	各事業者が実施する内容であり、予算や物理的に設置可能かといった問題もあるため、市としては明言しにくい内容となっています。そのため、どのような記載内容にするかは各事業者との調整次第となります。そういった背景があるため、市としては明言せずに「事業者が実施するため」といった記載にしています。
委員	「できること・できないこと」があるなかで、そのような指摘や要望があったことを「事業者に共有する」と、文章においても明らかにすると良いと思います。
事務局	承知しました。
委員	プラットホームが狭いというご意見がありますが、広げることは可能でしょうか？
委員	用地の制約もあるため、非常に困難です。
委員	パブリックコメントについて、基本構想の修正が必要な意見はなく、市の考え方についても承認いただけるということでもよろしいでしょうか。
一同	異議なし

報告事項

(1) 第4回中岡崎駅バリアフリー基本構想策定協議会での意見への対応方針

協議事項

(2) 中岡崎駅・岡崎公園前駅周辺地区バリアフリー基本構想について

(3) 今後のスケジュールについて

資料1、3、4に基づき説明

<以下、各委員の意見等>

委員	基本構想策定後、ホームページに掲載しますか？
事務局	はい、掲載します。
委員	目の不自由な方への本基本構想の発信の仕方はどのように考えていますか？
委員	読み上げ機能で対応可能です。PDFでは正しく動作しない場合があるため、広報課と確認します。
委員	概要版の点字対応も可能です。
委員	物理的なもので全てのバリアが解消されるわけではなく、啓蒙活動や教育といった視点も非常に重要となってきます。 その他、特にご異論がなければ、基本構想及び概要版、今後のスケジュールに関してご承認いただいたものとしします。
一同	異議なし

協議事項

(4) 令和7年度次世代ステーション創造事業「愛知環状鉄道線中岡崎駅（愛知県岡崎市）バリアフリー化整備計画」について（愛知環状鉄道）

愛知環状鉄道より説明

<以下、各委員の意見等>

委員	先日、聴覚障がい者が無人駅でトラブルに遭った話を聞きました。改札から出られない状態になったそうです。聴覚障がい者が駅利用時に困った場合はどうしたら良いでしょうか？
委員	有人駅であれば駅員に頼れるが、無人駅だと困難な部分もあるかと思われる。基本的には車掌が乗降等サポートする体制になっています。
委員	名古屋鉄道では、基本構想のコラムにもあるように「モニター付インターホン」を導入しています。ですが、全駅での導入は現状困難であるため、現在までは主要な一部駅のみで導入をしています。
委員	QRコードの運用やAIを活用した回答システム等も手段としては検討の余地があると思います。
委員	スマホでカスタマーセンターとチャット機能で連絡を取れると便利だと思いました。
委員	目指すべきは、バリアを持つ方が何事も不便なく過ごせるような環境であると思います。
委員	資料の内容について、承認いただけるということによろしいでしょうか。
一同	異議なし

以上